



トルコ大使館記念撮影

イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：1,198千円

第5回 産学共同国際デザインワークショップ

目的・趣旨

国際的かつ実践的な人材育成と地域の魅力発掘のため、静岡の産業振興をテーマに国際交流協定校と本学学生による産学共同国際デザインワークショップを行い、その成果を地域へ発信する。

日時・場所

平成30年4月1日から平成31年3月31日
静岡文化芸術大学、富士山静岡空港、下田市他

体制

(実施代表者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	高山 靖子
(実施分担者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	服部 守悦
	文化政策学部	国際文化学科	准教授	Edward Sarich

共催・後援等

内容

国際交流提携校であるイズミル経済大学（トルコ）と本学のデザイン・文化政策両学部生との混成チームにより、「富士山静岡空港における静岡の食プロモーション」をテーマにデザインワークショップを実施した。空港や茶の都ミュージアムなどの施設見学と下田市における食文化調査や文化体験を行った後、スズキ株式会社トヨタ車体株式会社・株式会社東芝・株式会社LIXILのデザイナーの方々から指導を受けながら提案をまとめ、発表した。その後、これまでの交流活動をまとめた5周年記念展を本学ギャラリーにて開催、公開プレゼンテーションを行い、トルコ共和国大使館においてこれを報告した。また、一連の活動記録として、5周年記念と2018年の活動記録冊子を作製した。



下田市における調査合宿



プレゼンテーション（5周年記念展）

結果・成果

ワークショップにおける情報交換やディスカッションを通して、学生達のコミュニケーション能力が高まり、グローバル人材育成トレーニングとしての効果を確認できた。また、本学卒業生も企業デザイナーとして参加し、リカレント教育の一つの方法を示すことができた。調査では、伊豆賀茂地区と県立大学の連携協定に先駆けて下田市において合宿を行い、これをもとに外国人の視点から静岡県の魅力を発掘し、空港を拠点に静岡各地へ空港利用客を誘引するビジネスデザインを提案することができた。これに対し、富士山静岡空港（株）からは、「一つ一つの案をできる限り実現したい」とのコメントをいただいた。

また、地域の国際化への貢献を目指して、市民公開講座「トルコの魅力」とも連動させた「国際デザインワークショップ5周年記念展」のセレモニーでは、静岡県や下田市・浜松市の行政関係者や経済界、トルコ共和国大使館関係者に対して成果を発表し、今後の展開に繋がる情報発信をすることができた。その後、トルコ共和国大使館において、これまでのイズミル経済大学との交流について本学学生から大使らに報告を行い、大学間の交流を地域間へと広げる一歩を踏み出すことができた。



5周年記念展会場



ディスカッション中の学生たち